

令和8年 第3回国東市議会定例会 一般質問予定表

■9月10日（木）

質問 順序	質問者 (議席番号) (会派名)	質問事項	質問の要旨	質問 相手
1	萱島 祥彦 (9番) (新世会)	1 国東市の自治体D X推進の取組状況と今後の推進方針について	①外部デジタル人材の活用について	市長
			②窓口D Xsaas・基幹系標準化の移行体制について	
			③県下18市町村合意の共同目標3項目の達成状況について	
			④コンビニの交付手数料を窓口より100円安くすることはできないか	
			⑤介護D Xの制度を市内事業者に周知したか	
			⑥D X推進に必要な不可欠なインターネット契約の推進について	
			⑦独自アプリは開発していないか	
			⑧市のD X推進計画を丸ごと外部に委託していないか	
			⑨行政の効率化を前面に出した説明をしていないか	
			⑩D Xの推進が窓口を減らすことが目的になっていないか	
		2 市道の管理状況と今後の管理の手法について	①国東市に支給される地方交付税のうち、市道の延長距離により支給される交付税の額について	市長
			②国東市に管理義務のある市道の本数（旧町別）と旧町ごとの総延長について	
			③地元行政区に草刈等の管理を依頼している市道の本数と経費の額について（単価の増額を考えるべき時期ではないか）	
			④今後の市道の管理計画立案に資する危険箇所等の見廻り業務の拡充や人員の配置について	
2	瀧口 由美子 (7番) (市民改革クラブ)	1 子どもたちのゆたかな学びを保障するための教育環境の整備について	①1学期のひと月当たり平均の勤務時間外在校等時間について ・R7とR8の1学期の平均を小中別に	教育長
			②休憩時間に勤務した時間と持ち帰り仕事の時間の把握について ・現在把握できているのか、できていないのであればできるようになる時期は	
			③来年度開始の部活動の地域展開について ・進捗状況を学校に知らせているのか ・現在入部している生徒の意向は ・平日の活動形態と送迎支援	
			④学校徴収金システムについて ・今年度4月導入後の検証はしているか ・どのような問題点があるか ・手数料の負担と一括払いの負担 ・現金による支払いをなくすことは可能か	
		2 地域運営組織設立の推進について	①現在の進捗状況について ・2つのモデル候補地区の現状と今後の取組	市長
			②行政の支援について ・伴走的支援を行う伴走者 ・人件費 ・活動費 ・拠点の整備 ・正当性（お墨付き）の付与	
			③他地域での設立に向けた取組について ・地域支え合い活動を行っている地域 ・地域支え合い活動を行っていない地域	
			④地域運営組織設立推進に向けた関係各課との連携について ・定期的な話し合いの場の設定と頻度 ・協議内容	

3	和田 圭介 (5番) (新風会)	1 ふるさと住民登録制度や二地域居住の推進と、住民主体の地域づくりを支える仕組み	①ふるさと住民登録制度や二地域居住について国東市として推進する計画はあるか。 ・空き家対策、移住定住等で一体的な地域づくりとしてはいいと考えるが。 ②「地域力創造アドバイザー」の招へいや、「二地域居住コーディネーター」設置の考えは。 ③地域の人が主体となって地域をつくっていくために、市としてどのような支援をしているのか。	市長
		2 災害時に支えあえるまちづくりについて	①災害ボランティアの受け入れ態勢について。 ・ボランティアセンターの具体的な設置場所や、運営方法は。 ②災害ボランティアの事前登録制度の現状は。 ・2年前の登録は7人だったが。 ③市と社会福祉協議会、地域団体などとの連携は。 ・連携した訓練等の実施は。 ④令和8年熊本地震をはじめ、近年の災害から得られた教訓を国東市の防災、災害対応に具体的にどのように生かすのか。	市長
4	松本 光生 (6番) (自由民主党)	1 大分空港宇宙構想について	①これまでの宇宙港関連事業にどれだけの市費を投入してきたのか	市長
			②国東市内の企業にどのようなビジネスチャンスが生まれるのか	
			③観光振興にどのようなになっているか	
			④国や県の考えと、いつまでに成果を出すのか	
		2 農業進出ファーマインド（なし）の輸出輸入の会社の状況（進出）について	①重藤地区での今の進め方。今後の方針	市長
			②旭日小学校の利活用について	
			③昭和30年・40年頃のパイロット事業での山の現状とこれからについて	
			④来浦の「おくまつ農園」「国東オリーブ園」の状況と今後について	
		3 国見町における買物支援の現状とこれから	①「みんなん館」でしていたマーケットがなくなって市民（国見町民）の声は	市長
			②「とくし丸」の現状は	
			③コンビニだけでなく「スーパー」の誘致の予定は	
			④「道の駅くにみ」を活用する考えは	